

- ・ハザードを決定するコンポーネント

反応生成物：ビスフェノール F⁻（エピクロロヒドリン）。エポキシ樹脂（数平均分子量≦700）オキシラン、モノ〔（C 12-14-アルキルオキシ）メチル〕誘導体

- ・ハザード・ステートメント H315 皮膚刺激を引き起こす。
H319 重大な眼刺激を引き起こす。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
H411 長年にわたる影響で水生生物に毒性がある。
- ・注意書き P101 医学的アドバイスが必要な場合は、手元に製品の容器またはラベルを用意してください。
P102 小児の手の届かない場所に保管。
P103 使用前にラベルを読んでください。
P261 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
P273 環境への放出を避ける。
P280 保護手袋/保護服/目の保護具/顔面を着用する。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを外してすすぎ続けてください。
P333 + P313 皮膚刺激または発疹が起こった場合：医師の診断/手当てを受けること。
P337 + P313 目の刺激が持続する場合：医師の診断/手当てを受けること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗浄する。
P501 内容/容器は、地域/国/国際規制
- ・追加情報：エポキシ成分が含まれています。アレルギー反応を起こすことがある。

・2.3 その他の危険有害性

- ・PBT：適用できません。
- ・vPvB：適用できません。

3：成分の組成/情報

・3.2 化学的特性：混合物

CAS：25068-38-6 NLP：500-033-5 インデックス番号：603-074-00-8

登録番号：01-2119456619-26-0000

反応生成物：ビスフェノール-A⁻（エピクロロヒドリン）エポキシ樹脂（番号平均分子量= 700） 12.5-25%



水生慢性 2、H411

⚠ 皮膚の炎症 2、H315; 目の痛み。 2、H319; 皮膚感覚.1、H317

CAS : 9003-36-5 NLP : 500-006-8

登録番号 : 01-2119454392-40

反応生成物 : ビスフェノール F- (エピクロロヒドリン)。 エポキシ樹脂 (番号
平均分子量 ≤ 700) <10%

⚠ 水生慢性 2、H411

⚠ 皮膚の炎症 2、H315; 皮膚感覚.1、H317

CAS : 68609-97-2 EINECS : 271-846-8

インデックス番号 : 603-103-00-4

登録番号 : 01-2119485289-22-xxxx

オキシラン、モノ[(C 12-14 - アルキルオキシ) メチル]誘導体 1-5%

⚠ 皮膚の炎症 2、H315; 目の痛み。 2、H319; 皮膚感覚.1、H317

- ・ 追加情報 : リストされたハザードの表現については、第 16 章を参照のこと。

4 : 応急処置

・ 4.1 応急措置の説明

- ・ 一般情報 : 被災者を新鮮な空気の中に連れて行く。
横向きで安定した姿勢で搬送。
製品によって汚れた衣類は直ちに取り除いてください。
- ・ 吸入後 : 新鮮な空気を供給し、必ず医者に連絡してください。
- ・ 皮膚接触後 : 皮膚刺激が続く場合は、医師に相談してください。
直ちに水と石鹸で洗い、よくすすいでください。
- ・ 目の接触後 : 流水で数分間水をすすぐ。症状が持続する場合、医師に相談してください。
- ・ 嚥下後 : 口をすすぎ、十分な水を飲む。

・ 4.2 重要な症状、急性および慢性の症状

呼吸困難 咳 アレルギー反応

- ・ 医師のための情報 : ビスフェノール A 系樹脂 : 吸入、嚥下または皮膚の取り込みは、健康被害を引き起こす。呼吸器官、消化器系、目および皮膚を刺激する : 例えば、咳、呼吸困難、涙、灼熱感。そのような健康障害を引き起こす可能性があります、皮膚の変化、腎臓、肝臓の損傷、血球数の変化などがあります。皮膚アレルギーを引き起こす。感受性の高いユーザーは非常に低いレベルに反応することがあります、ビ

スフェノール-A-エピクロロヒドリンの濃度に反応することがありますので、それ以上はこの薬品を接触させない。エポキシド系樹脂の増感効果は、主に特定の分子量 ≤ 300 を有するエポキシ樹脂ポリマーの濃度。観察されたアレルギー性の皮膚および呼吸の外観は、重症度に依存して対症的に起こる。エポキシ樹脂ベースのアレルギー疾患は細胞媒介型（リンパ球の相互作用）IV型アレルギーに属する。

- ・危険 呼吸障害の危険性。成分のポリエステルおよびエポキシ樹脂溶液との皮膚接触皮膚刺激やアレルギー性皮膚のリスクのために製品を避けるべきである。時折手の接触を避けることができない場合は、保護手袋、適切な保護軟膏および保護層を生成する保護剤皮膚に塗布する。

5：消防措置

消火方法：適切な消火剤を使って消化する。

消火剤：CO₂、粉末または水スプレー。水噴霧やアルコール耐泡性フォームで鎮火させる。

火災から生じる有害物質または混合物：加熱中または火災時に一酸化炭素、有毒ガスが発生する。

保護具：完全に保護するスーツを着用してください。自給式呼吸器保護具を着用する。爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないでください。

・ 5.3 消防士用アドバイス

- ・ 保護具：完全に保護するスーツを着用してください。
自給式呼吸器保護具を着用する。
爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないでください。
- ・ 追加情報：汚染された消火水を別に収集する。下水に入れてはいけない。
火災の残留物および汚染された消火水は、規定に従って処理する。

6：漏出時の措置

人体に対する注意事項：保護装置（マスク・手袋・メガネ等）を着用する。

十分な換気をする、ヒューム/ダスト/エアロゾルの影響に対して呼吸保護具を使用する。

環境に対する注意事項：地上/土壌に浸透しないようにしてください。下水/地表水や地下水には入らないでください。

除去方法：量が少ない場合はウエス、雑巾等でふき取る、量が多い場合は流出を防ぎ、ドラム等に回収する。

7：取扱いと保管安全のための注意事項

取り扱い：火気厳禁。

爆発防止：特別な措置は必要ありません。

換気の良い場所でのみ使用すること。保護具を着用し目や皮膚に触れないように作業する。作業後は手や顔をよく洗いうがいをする。

保管： 火気厳禁。

涼しく乾燥した場所に密閉した容器に保管してください。

還元剤から離して保管してください。

地面に浸透しないようにする。

食品から離して保管してください。

容器はしっかりと密閉してください。

8：暴露防止/保護措置

設備対策：十分な換気を確保する。 ヒューム/ダスト/エアロゾルの影響に対し排気装置を設置する。近くに洗い場を設ける。

保護装置（マスク・手袋・メガネ等）を確保する。

9：物理的および化学的性質

・ 基本的な物理的および化学的特性に関する情報 9.1

・ 外観：形： ペースト

色： 黒、黄色、白色、ベージュ、グレー

・ 臭い：エーテル臭

・ pH 値：適用できません

・ 条件の変更融点/凝固点：未定。初期沸点および沸点範囲：> 200°C

・ 引火点：> 100°C

・ 着火温度：> 250°C

・ 分解温度：> 200°C

・ 自着火温度：製品は自発性がない

・ 爆発性：製品は爆発の危険はありません。

・ 20°Cにおける蒸気圧：2hPa

・ 20°Cでの密度：1.87g / cm³

・ 溶解性/混和性水：混和性がなく、混和しにくい。

・ 粘度：20°Cで動的：100000mPas

・ 溶媒含有量：有機溶媒：0.0%

・ ソリッドコンテンツ：62.2%

10：化学的安定性および反応性

安定性：保管されても分解は起こらない。

反応性：塩基や数多くの有機物との激しい反応を起こすことがある。 エポキシ樹脂硬化剤（アミン類）との強力な発熱反応をすることがある。

アルコールおよびアミンを含む。強酸と反応する。発熱性重合。

11：毒物学的情報

・ 11.1 毒物学的作用に関する情報

- ・ 急性毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ 分類に関連する LD / LC50 値：**25068-38-6 反応生成物：ビスフェノール-A- (エピクロロヒドリン) エポキシ樹脂 (数平均分子量= 700)**
 オーラル LD50 20000mg / kg (マウス)
 19800mg / kg (ウサギ)
 11400mg / kg (ラット)
 NOEL 540mg / kg (ラット) (OECD416)
 LD50> 2000mg / kg (ウサギ)
- ・ 皮膚腐食性/刺激性 皮膚刺激を引き起こす。
- ・ 重大な眼の損傷/刺激 重大な眼刺激を引き起こす。
- ・ 呼吸器感作または皮膚感作 アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
- ・ CMR 効果 (発がん性、変異原性および生殖毒性)
- ・ 生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ 発がん性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ 生殖毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ STOT - 一回暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ STOT - 繰り返し露光 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。
- ・ 吸引の危険利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされません。

12：生態学的情報

・ 12.1 毒性

- ・ 水生生物毒性：製品には環境に有害な物質が含まれています
25068-38-6 反応生成物：ビスフェノール-A- (エピクロロヒドリン) エポキシ樹脂 (数平均分子量= 700)
 EC50 / 24h 1.1-3.6 mg / l (ミジンコ)
 EC50 / 96 時間 3.6mg / l (Leuciscus idus)
 220mg / l (Scenedesmus subspicatus)
 IC50 > 100mg / l (細菌)
 EC50 / 48h 2.7 mg / l (ミジンコ) (OECD 202)
 NOEC 0.3 mg / kg (ミジンコ) (OECD 211)
 EC50 / 72h 9.4mg / l (セレナストラムカプリコーン)
 LC50 / 96 時間 1.3mg / l (piscis)
 1.5mg / l (Oncorhynchus mykiss) (OECD 203)

1.5-7.7 mg / l (ニジマス)

- 12.2 生物濃縮の可能性はありません、
- 12.3 モビリティ 関連情報はあります。
- 一般的な注意事項： 製品が地下水、水路または下水道に到達しないようにしてください。水域の魚やプランクトンにも有毒です。
- 12.4 PBT および vPvB 評価の結果・
- PBT： 適用できません。
- vPvB： 適用できません。

13：廃棄上の注意

• 13.1 廃棄物処理法

家庭ごみと一緒に処分してはならない。下水道に流してはならない。

産業廃棄物として許可を受けた収集運搬業者や処分者と契約し廃棄物処理法および関連法規、法令の基に廃棄処分する。

汚染された容器を完全に空にし、産業廃棄物として許可を受けた収集運搬業者や処分者と契約し廃棄物処理法および関連法規、法令の基に廃棄処分する

- 推奨される洗浄剤：アルコール、アセトン

14：輸送情報

国際海上輸送には IMDG（危険物に関する国際海上協定）に従う。

国際航空輸送には IATA（国際航空運送協定）に従う。

国内規則 陸上輸送 危険物第4類第3石油類消防法に従う。

海上輸送 船舶安全法に従う。

航空運送 航空法に従う。

15：規制に関する情報

化審法 該当しない。

消防法 危険物第4類第3石油類

労働安全衛生法 危険物 該当しない。

通知対象物 該当しない

変異原性が認められた物質 該当する。

労働基準法 感作性物質の指定 該当する。

毒物及び劇物取締法 該当しない。

16：その他の情報

- SDS 発行部門：研究室
- 連絡先：Dieter Zimmermann
- 略語と頭字語：

ADR：アクト・ユーロペイレン・シュール・レ・ル・ド・デールは、

道路による危険物の国際運送に関する合意)

IMDG：危険物に関する国際海上コード

IATA：国際航空運送協会

GHS：化学物質の分類と表示の世界的に調和したシステム

EINECS：既存の商業化学物質の欧州インベントリ

ELINCS：通知された化学物質の欧州リスト

CAS：ケミカルアブストラクトサービス（アメリカ化学協会の部門）

DNEL：派生無効果レベル（REACH）

PNEC：予測される無影響濃度（REACH）

LD50：致死量、50%

PBT：持続性、生物濃縮性および有毒性

vPvB：非常に持続性があり、非常に生物濃縮性が高い